

計画の名称		北九州港における安全で利用しやすい港づくり（地域活性化）																																										
計画の期間		平成22年度～平成26年度（5年間）					交付対象		北九州市																																			
計画の目標		<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化により陳腐化し利用効率の低下した施設等に、適切な改良を加え有効活用するための整備を行い、既存施設の利便性向上を図る。 港湾施設の維持管理計画を策定し、計画的かつ適切な維持管理を図る。 臨港交通施設を整備することにより、安全で円滑な物流活動を確保する。 市民のニーズに応える魅力的な水際線づくりを進め、市民が気軽に港や海辺に親しみながら交流できる場を提供する 																																										
計画の成果目標（定量的指標）		<ul style="list-style-type: none"> 岸壁、物揚場等の係留施設の老朽化に対して適正な改良を加えることで、施設利用支障率を20%（H22）から15%（H26）へ削減 長寿命化計画策定率を100%とする <76%（H21d末）⇒100%（H24d）> 臨港交通施設を整備することにより、安全に利用でき、物流の円滑化に資する道路等の延長を3,000m（H26d）増加 緑地の整備率（面積）を5%増加 <23%（H22d）⇒28%（H26d）> 水際線を舞台とした市民交流機会（人数）を60%増加 <活動参加者数：2200人（H21d）⇒3500人（H26d）> 																																										
定量的指標の定義及び算定式		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> <tr> <td>① 北九州港の係留施設（岸壁、物揚場等）の全施設に対する、利用に支障がでている施設の率を算出する。 (係留施設（岸壁・物揚場等）利用支障率) = (利用支障係留施設の数) / (係留施設の数) (%)</td> <td>20%</td> <td>17%</td> <td>15%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 長寿命化計画策定率を100%にする。 長寿命化計画策定率 = 評価年度における長寿命化計画策定施設数 / 長寿命化計画を策定する全施設数</td> <td>76%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 臨港交通施設の延長3,000m増加を目標とする。 臨港交通施設の増加延長 = 平成22年度から平成26年度までの整備目標延長</td> <td>0 m</td> <td>1,130 m</td> <td>3,000 m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ 緑地の整備率（面積）5%増加を目標とする。 緑地面積増加率 = 計画期間の緑地整備面積 / 港湾計画上の緑地面積</td> <td>23%</td> <td>25%</td> <td>28%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤ 水際線を舞台としたイベントや清掃活動などの活動参加者数の増加 参加者増加率 = 平成20年度実績 から 平成21年度実績 の倍率</td> <td>2,200 人</td> <td>2,800 人</td> <td>3,500 人</td> <td></td> </tr> </table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	① 北九州港の係留施設（岸壁、物揚場等）の全施設に対する、利用に支障がでている施設の率を算出する。 (係留施設（岸壁・物揚場等）利用支障率) = (利用支障係留施設の数) / (係留施設の数) (%)	20%	17%	15%		② 長寿命化計画策定率を100%にする。 長寿命化計画策定率 = 評価年度における長寿命化計画策定施設数 / 長寿命化計画を策定する全施設数	76%	100%	100%		③ 臨港交通施設の延長3,000m増加を目標とする。 臨港交通施設の増加延長 = 平成22年度から平成26年度までの整備目標延長	0 m	1,130 m	3,000 m		④ 緑地の整備率（面積）5%増加を目標とする。 緑地面積増加率 = 計画期間の緑地整備面積 / 港湾計画上の緑地面積	23%	25%	28%		⑤ 水際線を舞台としたイベントや清掃活動などの活動参加者数の増加 参加者増加率 = 平成20年度実績 から 平成21年度実績 の倍率	2,200 人	2,800 人	3,500 人	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																								
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																																									
① 北九州港の係留施設（岸壁、物揚場等）の全施設に対する、利用に支障がでている施設の率を算出する。 (係留施設（岸壁・物揚場等）利用支障率) = (利用支障係留施設の数) / (係留施設の数) (%)	20%	17%	15%																																									
② 長寿命化計画策定率を100%にする。 長寿命化計画策定率 = 評価年度における長寿命化計画策定施設数 / 長寿命化計画を策定する全施設数	76%	100%	100%																																									
③ 臨港交通施設の延長3,000m増加を目標とする。 臨港交通施設の増加延長 = 平成22年度から平成26年度までの整備目標延長	0 m	1,130 m	3,000 m																																									
④ 緑地の整備率（面積）5%増加を目標とする。 緑地面積増加率 = 計画期間の緑地整備面積 / 港湾計画上の緑地面積	23%	25%	28%																																									
⑤ 水際線を舞台としたイベントや清掃活動などの活動参加者数の増加 参加者増加率 = 平成20年度実績 から 平成21年度実績 の倍率	2,200 人	2,800 人	3,500 人																																									
全体事業費（実施）	合計 (A+B+C)	2,421 百万円	A	2,355 百万円	B	0 百万円	C	66 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		2.7%																																	
事後評価（中間評価）																																												
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																																												
事後評価（中間評価）の実施体制				事後評価（中間評価）の実施時期																																								
【実施体制】 北九州市港湾空港局整備保全部計画課が事後評価を実施				平成28年度																																								
【評価値の確認方法】 2名の学識経験者に意見聴取を実施				公表の方法																																								
				北九州市ホームページに掲載																																								
1. 交付対象事業の進捗状況																																												
交付対象事業																																												
A1 港湾事業																																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	港湾種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）		継続/完了	進捗状況		備考																							
											上段:計画	下段:実施	H22	H23	H24	H25	H26		計画	実施		着手済/全体	進捗度																					
1-A1-1	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	新門司北地区 道路整備事業	道路整備 L=1,130m	北九州港 新門司北地区	■■■■■	■■■■■				87	87	完了																										
1-A1-2	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	日明地区 岸壁（-5.5m）整備事業	岸壁整備 L=100m	北九州港 日明地区	■■■■■					15	15	完了																										
1-A1-3	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	新門司北地区 東緑地整備事業	面積 A=1.9ha	北九州港 新門司北地区	■■■■■	■■■■■	■■■■■			227	256	継続			元地域自主 H24地域自																							
1-A1-4	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	新門司北地区 緑地（C）整備事業	面積 A=5.9ha	北九州港 新門司北地区	■■■■■	■■■■■	■■■■■			232	212	完了			元地域自主 H24地域自																							
1-A1-5	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	新門司北地区 北緑地整備事業	面積 A=2.4ha	北九州港 新門司北地区				■■■■■		80	0				元地域自主																							
1-A1-6	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	門司港レトロ地区 緑地（大連上屋）整備事業	面積 A=1.0ha	北九州港 門司港レトロ地区	■■■■■	■■■■■	■■■■■			668	667	完了	10/11	91%	元地域自主 H24地域自																							
1-A1-7	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	響灘東地区 北緑地整備事業	面積 A=20.9ha	北九州港 響灘東地区	■■■■■	■■■■■	■■■■■			386	386	完了			元地域自主 H24地域自																							
1-A1-8	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	響灘東地区 南緑地整備事業	面積 A=15ha	北九州港 響灘東地区	■■■■■	■■■■■	■■■■■			379	341	継続			元地域自主 H24地域自																							
1-A1-41	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	情報通信施設	システム改修（陸上システム追加）	北九州港	■■■■■	■■■■■				9	9	完了			元地域自主																							
1-A1-54	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	響灘西地区 道路整備事業	道路整備 L=2,480m	北九州港 響灘西地区	■■■■■	■■■■■	■■■■■			245	211	継続																										
1-A1-59	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	響灘西地区 防波堤整備事業	防波堤整備 L=200m	北九州港 響灘西地区		■■■■■	■■■■■			197	171	継続			元地域自主 H24地域自																							
小計（港湾事業）											2,525	2,355																																
合計											2,525	2,355																																

C 効果促進事業														進捗状況		備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)		継続/完了	着手済/全体	進捗度	
										H22	H23	H24	H25	H26	計画					実施
1-C1-1	施設整備	内地	北九州市	直接	—	情報板整備	案内情報板の整備	案内板10基、情報板2基	北九州港新門司北地区						16	3	完了	5/13	38%	元地域自主
1-C1-2	施設整備	内地	北九州市	直接	—	歩道改良	連絡通路の整備	歩道改良 L=300m	北九州港新門司北地区						10	0				元地域自主
1-C1-3	活動支援	内地	北九州市	直接	—	ワークショップ	施設の活用・管理を考える市民ワークショップ	ワークショップ	北九州港新門司北地区						20	0				元地域自主
1-C1-4	施設整備	内地	北九州市	直接	—	情報板整備	案内情報板の整備	案内板3基、情報板2基	北九州港門司港レトロ地区						7	5	完了			元地域自主
1-C1-5	施設整備	内地	北九州市	直接	—	バリアフリー	施設のバリアフリー化	エレベータ設置、LED照明	北九州港門司港レトロ地区						80	0				元地域自主
1-C1-6	活動支援	内地	北九州市	直接	—	ワークショップ	施設の活用・管理を考える市民ワークショップ	ワークショップ	北九州港門司港レトロ地区						7	0				元地域自主
1-C1-7	社会実験	内地	北九州市	直接	—	社会実験	施設の利用促進に向けた社会実験	歴史港湾施設学習	北九州港門司港レトロ地区						45	5	完了			元地域自主 H24地域自
1-C1-8	施設整備	内地	北九州市	直接	—	情報板整備	案内情報板の整備	案内板3基、情報板6基	北九州港響灘東地区						11	1	完了			元地域自主
1-C1-9	活動支援	内地	北九州市	直接	—	ワークショップ	施設の活用・管理を考える市民ワークショップ	ワークショップ	北九州港響灘東地区						16	0				元地域自主
1-C1-10	社会実験	内地	北九州市	直接	—	社会実験	施設の利用促進に向けた社会実験	港湾環境学習	北九州港響灘東地区						11	0				元地域自主
1-C1-14	社会実験	内地	北九州市	直接	—	社会実験	物流拠点化に向けた社会実験	物流の効率化にかかる効果検証	北九州港太刀浦地区						20	0				元地域自主 H24地域自
1-C1-18	社会実験	内地	北九州市	直接	—	社会実験	物流拠点化に向けた社会実験	物流の効率化にかかる効果検証	北九州港響灘西地区						70	0				元地域自主 H24地域自
1-C1-19	施設整備	内地	北九州市	直接	—	施設整備	高度利用のための施設整備	休憩所機能強化等	北九州港門司港レトロ地区						67	52	完了			元地域自主 H24地域自
合計														380	66					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C1-1	港湾事業(1-A1-3)(1-A1-4)(1-A1-5)と一体的に案内情報板を整備し、施設の利用者の増加や利便性の向上を図るとともに、施設に関する理解や関心の向上を図る。	
1-C1-2	港湾事業(1-A1-5)と一体的に歩道のバリアフリー化を行い、アクセス性の向上および利用者の安全性、利便性を確保する。	
1-C1-3	港湾事業(1-A1-3)(1-A1-4)(1-A1-5)と一体的に実施することにより、市民の関心・愛着の高まり、ごみ投棄等の減少、利用マナーの向上などが期待できる。	
1-C1-4	港湾事業(1-A1-6)と一体的に案内板を整備し、施設の利用者の増加や利便性の向上を図るとともに、施設に関する理解や関心の向上を図る。	
1-C1-5	港湾事業(1-A1-6)と一体的に施設のバリアフリー化を行い、利用者の安全性や利便性を向上させ、誰でも安心して安全に利用することが出来る。	
1-C1-6	港湾事業(1-A1-6)と一体的に実施することにより、市民の関心・愛着の高まり、ごみ投棄等の減少、利用マナーの向上などが期待できる。	
1-C1-7	港湾事業(1-A1-6)と一体的に実施することにより、整備した施設を幅広く周知し、歴史的価値を高めるとともに、港湾施設などに関する関心や理解を深めるきっかけを創出する。	
1-C1-8	港湾事業(1-A1-7)(1-A1-8)と一体的に案内板を整備し、施設の利用者の増加や利便性の向上を図るとともに、施設に関する理解や関心の向上を図る。	
1-C1-9	港湾事業(1-A1-7)(1-A1-8)と一体的に実施することにより、市民の関心・愛着の高まり、ごみ投棄等の減少、利用マナーの向上などが期待できる。	
1-C1-10	港湾事業(1-A1-7)(1-A1-8)と一体的に実施することにより、港湾施設および港湾の周辺にある環境関連施設に関する理解や関心の向上を図る。	
1-C1-14	港湾事業(1-A'1-17)(1-A'1-43)と一体的に実施することにより、貨物輸送の効率化、CO2排出量や輸送コストの削減、岸壁等の利用促進が期待できる。	
1-C1-18	港湾事業(1-A1-54)と一体的に実施することにより、貨物輸送の効率化、CO2排出量や輸送コストの削減、岸壁や道路等の利用促進が期待できる。	
1-C1-19	港湾事業(1-A1-6)と一体的に交流機能の強化及び防災機能の付加をすることで、施設の高度利用が出来る。	

その他関連する事業														進捗状況		備考
事業種別	交付対象	要素となる事業名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)		継続/完了	着手済/全体	進捗度				
			H22	H23	H24	H25	H26	計画	実施							
1-A'1-9	港湾	北九州市	長寿命化計画策定						44	44	完了	33/65	51%	防災・安全		
1-A'1-10	港湾	北九州市	井ノ浦地区 航路(-4m) 改良						108	108	継続			防災・安全		
1-A'1-11	港湾	北九州市	新門司地区 物揚場(-4m) 改良						96	0				防災・安全		
1-A'1-12	港湾	北九州市	新門司地区 浮棧橋 改良						120	0				防災・安全		
1-A'1-13	港湾	北九州市	新門司地区 道路(A) 改良						40	0				防災・安全		
1-A'1-14	港湾	北九州市	太刀浦地区 道路(A) 改良						30	0				防災・安全		
1-A'1-15	港湾	北九州市	新門司北地区 岸壁(-8m) 改良						49	87	完了			防災・安全		
1-A'1-16	港湾	北九州市	新門司北地区 岸壁(-8m) 改良						10	289	継続			防災・安全		
1-A'1-17	港湾	北九州市	太刀浦地区 岸壁(-10m) 改良						158	70	完了			防災・安全		
1-A'1-18	港湾	北九州市	太刀浦地区 岸壁(-4.5m)(B) 改良						30	0				防災・安全		
1-A'1-19	港湾	北九州市	太刀浦地区 岸壁(-4.5m)(C) 改良						47	49	完了			防災・安全		
1-A'1-20	港湾	北九州市	太刀浦地区 岸壁(-10m) 改良						87	82	完了			防災・安全		
1-A'1-21	港湾	北九州市	田野浦地区 物揚場(-4m) 改良						48	0				防災・安全		
1-A'1-22	港湾	北九州市	田野浦地区 船揚場(-2m) 改良						1	0				防災・安全		
1-A'1-23	港湾	北九州市	門司港レトロ地区 岸壁(-9m) 改良						52	0				防災・安全		
1-A'1-24	港湾	北九州市	門司港レトロ地区 道路 改良						54	60	完了			防災・安全		

事業種別	交付対象	要素となる事業名	全体事業費(百万円)		継続/完了	進捗状況		備考	
			計画	実施		着手済/全体	進捗度		
1-A' 1-25	港湾	北九州市	西海岸地区 岸壁(-10m) 改良	36	36	継続		防災・安全	
1-A' 1-26	港湾	北九州市	砂津地区 岸壁(-7.5m) 改良	70	0			防災・安全	
1-A' 1-27	港湾	北九州市	砂津地区 可動橋	130	0			防災・安全	
1-A' 1-28	港湾	北九州市	戸畑地区 岸壁(-6m) 改良	33	0			防災・安全	
1-A' 1-29	港湾	北九州市	新川地区 岸壁(-9m) 改良	150	0			防災・安全	
1-A' 1-30	港湾	北九州市	松ヶ島地区 物揚場(-3m) 改良	267	211	継続		防災・安全	
1-A' 1-31	港湾	北九州市	黒崎地区 岸壁(-8m) 改良	20	0			防災・安全	
1-A' 1-32	港湾	北九州市	黒崎地区 岸壁(-4.5m) 改良	10	0			防災・安全	
1-A' 1-33	港湾	北九州市	黒崎地区 物揚場(-3m) 改良	20	0			防災・安全	
1-A' 1-34	港湾	北九州市	堀川地区 岸壁(-5.5m) 改良	10	0			防災・安全	
1-A' 1-35	港湾	北九州市	堀川地区 道路護岸 改良	10	0			防災・安全	
1-A' 1-36	港湾	北九州市	二島地区 岸壁(-7.5m) 改良	10	0			防災・安全	
1-A' 1-37	港湾	北九州市	北湊地区 岸壁(-5m) 改良	36	0			防災・安全	
1-A' 1-38	港湾	北九州市	北湊地区 物揚場(-3.5m) 改良	20	16	継続		防災・安全	
1-A' 1-39	港湾	北九州市	北湊地区 道路 改良	147	166	完了		防災・安全	
1-A' 1-40	港湾	北九州市	北湊地区 航路護岸 改良	95	95	完了		防災・安全	
1-A' 1-42	港湾	北九州市	新門司地区 岸壁(-5.5m) 改良	20	0			防災・安全	
1-A' 1-43	港湾	北九州市	太刀浦地区 岸壁(-10m) 改良	141	218	完了		防災・安全	
1-A' 1-44	港湾	北九州市	西海岸地区 物揚場(-2m) 改良	137	9	継続		防災・安全	
1-A' 1-45	港湾	北九州市	西海岸地区 物揚場(-3m) 改良	40	0			防災・安全	
1-A' 1-46	港湾	北九州市	西海岸地区 物揚場(-1.8m) 改良	10	0			防災・安全	
1-A' 1-47	港湾	北九州市	日明地区 岸壁(-11m) 改良	35	0		33/65	51%	防災・安全
1-A' 1-48	港湾	北九州市	日明地区 物揚場(-3m) 改良	20	0			防災・安全	
1-A' 1-49	港湾	北九州市	二島地区 岸壁(-7.5m) 改良	12	0			防災・安全	
1-A' 1-50	港湾	北九州市	二島地区 岸壁(-5.5m) 改良	8	0			防災・安全	
1-A' 1-51	港湾	北九州市	堀川地区 岸壁(-5.5m) 改良	13	0			防災・安全	
1-A' 1-52	港湾	北九州市	太刀浦地区 道路① 改良	178	118	継続		防災・安全	
1-A' 1-53	港湾	北九州市	響灘東地区 道路 改良	5	5	継続		防災・安全	
1-A' 1-55	港湾	北九州市	戸畑地区 道路	195	187	完了		防災・安全	
1-A' 1-56	港湾	北九州市	門司港レトロ地区 橋梁 改良	30	0			防災・安全	
1-A' 1-57	港湾	北九州市	戸畑地区 物揚場(-4m) 改良	17	17	継続		防災・安全	
1-A' 1-58	港湾	北九州市	響灘東地区 橋梁 改良	11	11	継続		防災・安全	
1-A' 1-60	港湾	北九州市	大里地区 防波堤	80	77	完了		防災・安全	
1-A' 1-61	港湾	北九州市	松ヶ島地区 船だまり 改良	119	127	完了		防災・安全	
1-A' 1-62	港湾	北九州市	洞海地区 航路(-8.5m)改良	369	366	継続		防災・安全	
1-A' 1-63	港湾	北九州市	太刀浦地区 岸壁(-12m) 改良	229	233	完了		防災・安全	
1-A' 1-64	港湾	北九州市	門司港レトロ地区 緑地 改良	18	10	完了		防災・安全	
1-A' 1-65	港湾	北九州市	西海岸地区 泊地(-10m) 改良	138	0			防災・安全	
1-A' 1-66	港湾	北九州市	大里地区 船揚場 改良	21	23	完了		防災・安全	
1-A' 1-67	港湾	北九州市	若松地区 物揚場(-2.5m) 改良	77	29	継続		防災・安全	
1-A' 1-68	港湾	北九州市	若松地区 防波堤	30	0			防災・安全	
1-A' 1-69	港湾	北九州市	新門司北地区 岸壁(-8m) 改良	161	12	完了		防災・安全	
1-A' 1-70	港湾	北九州市	太刀浦地区 岸壁(-10m) 改良	78	77	完了		防災・安全	

事業種別	交付対象	要素となる事業名	全体事業費(百万円)		継続/完了	進捗状況		備考	
			計画	実施		着手済/全体	進捗度		
1-A' 1-71	港湾	北九州市	太刀浦地区 道路② 改良	30	0	33/65	51%	防災・安全	
1-A' 1-72	港湾	北九州市	田野浦地区 橋梁 改良	6	6			継続	防災・安全
1-A' 1-73	港湾	北九州市	西海岸地区 岸壁(-11m) 改良	9	0			継続	防災・安全
1-A' 1-74	港湾	北九州市	東田地区 緑地 改良	3	6			継続	防災・安全
1-A' 1-75	港湾	北九州市	砂津地区 岸壁(-7.5) 改良	78	58			完了	防災・安全
1-A' 1-76	港湾	北九州市	戸畑地区 浮桟橋 改良	15	15			継続	防災・安全
			関連事業A' 合計	4,370	2,917				
事業種別	交付対象	要素となる事業名	全体事業費(百万円)		継続/完了	進捗状況		備考	
			計画	実施		着手済/全体	進捗度		
1-C' 1-11	調査	北九州市	港湾施設改良のワークショップ開催	120	0	1/6	17%	防災・安全	
1-C' 1-12	施設整備	北九州市	フェンス設置	40	0			継続	防災・安全
1-C' 1-13	社会実験	北九州市	環境に配慮した輸送モード推進への社会実験	120	20			完了	防災・安全
1-C' 1-15	活動支援	北九州市	埠頭再編のためのワークショップ	10	0			継続	防災・安全
1-C' 1-16	活動支援	北九州市	埠頭利用のためのワークショップ	10	0			継続	防災・安全
1-C' 1-17	施設整備	北九州市	歩道拡幅事業	31	0			継続	防災・安全
			関連事業C' 合計	331	20				

A' + B' + C'	2,937 百万円	A'	2,917 百万円	B'	0 百万円	C'	20 百万円	$(C + C') / ((A + A') + (B + B') + (C + C'))$	1.6%
--------------	-----------	----	-----------	----	-------	----	--------	---	------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>指標① 係留施設の老朽化対策を実施することにより、施設利用者の安全性が確保され利便性が向上した。</p> <p>指標② 対象となる港湾施設の維持管理計画策定により各施設の現況が把握でき、計画に基づいた適切な維持管理が可能となった。</p> <p>指標③ 臨港道路の整備により、安全で円滑な物流が形成され利便性が向上した。</p> <p>指標④⑤ 港湾緑地の整備により、魅力ある港湾空間が創出され来訪者が増加した。</p>							
II 定量的指標の達成状況	指標① (係留施設(岸壁・物揚場等)利用支障率の削減)	最終目標値	15 %	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成				
		最終実績値	15 %						
	指標② (長寿命化計画策定率)	最終目標値	100 %	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成				
		最終実績値	100 %						
	指標③ (臨港交通施設の増加延長)	最終目標値	3,000 m	目標値と実績値に差が出た要因	企業誘致のタイミング等による影響で目標延長は達成できなかったが、道路整備が完了したエリアにおいては、物流の円滑化・利便性向上が図れ、物流企業が進出するなど一定の成果を上げることができた。				
		最終実績値	2,310 m						
	指標④ (緑地面積の増加率)	最終目標値	28 %	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成				
		最終実績値	29 %						
	指標⑤ (水際線を舞台としたイベントや清掃活動などの参加者数の増加)	最終目標値	3,500 人	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成				
		最終実績値	4,193 人						
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・新門司北地区において、フェリー岸壁の防衛工を改良することで、大型船の係留が可能となり海上輸送の効率化が図れた。 ・新門司北地区東緑地において、海岸高潮事業と一体的に緩衝緑地を整備したことで、高潮に対する防護機能強化が図れた。 							

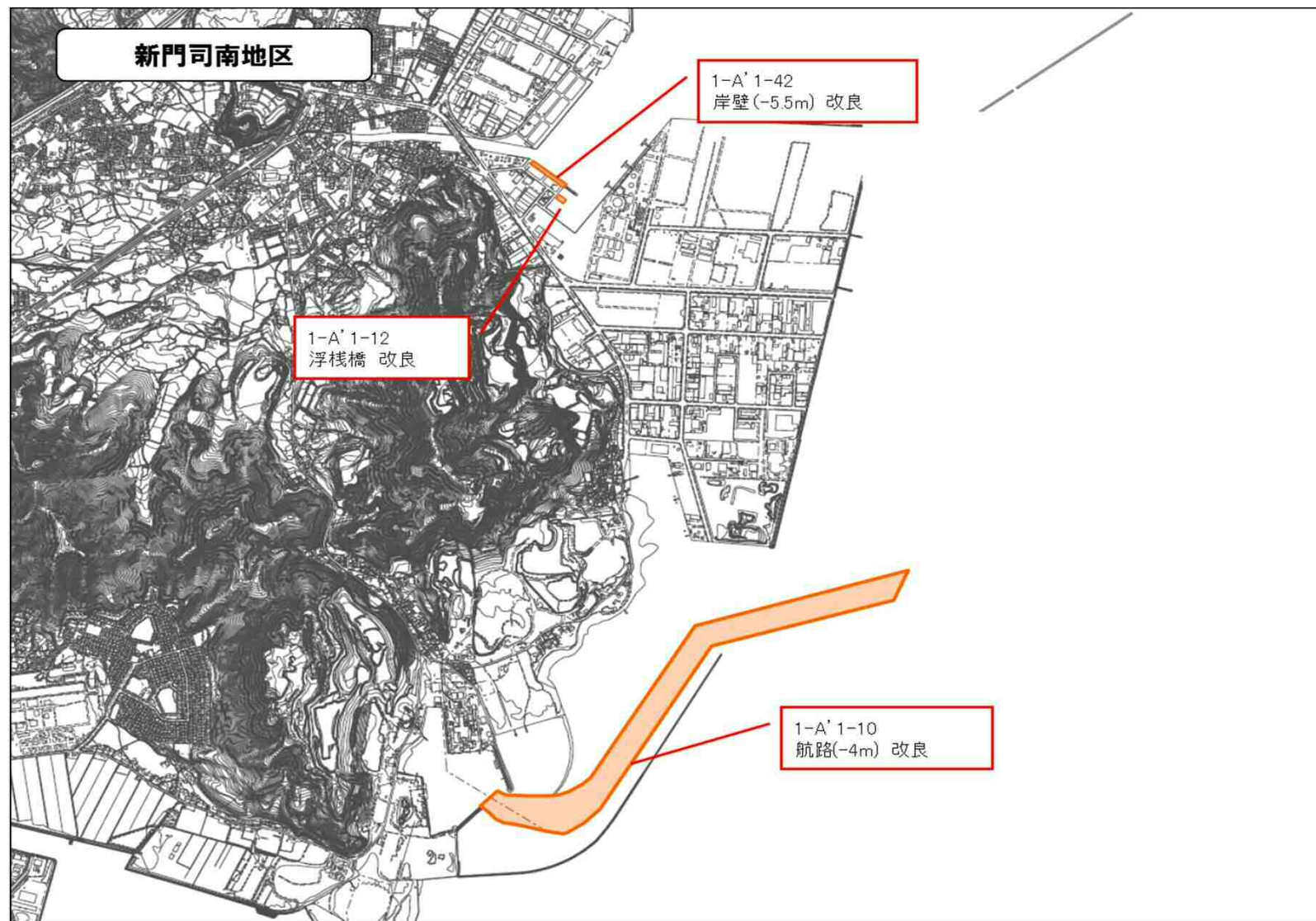
3. 特記事項 (今後の方針等)

・今後も引き続き、老朽化した係留施設や臨港交通施設等の改良を計画的に実施し、施設の延命化及び施設利用者の安全性・利便性の向上を図る。

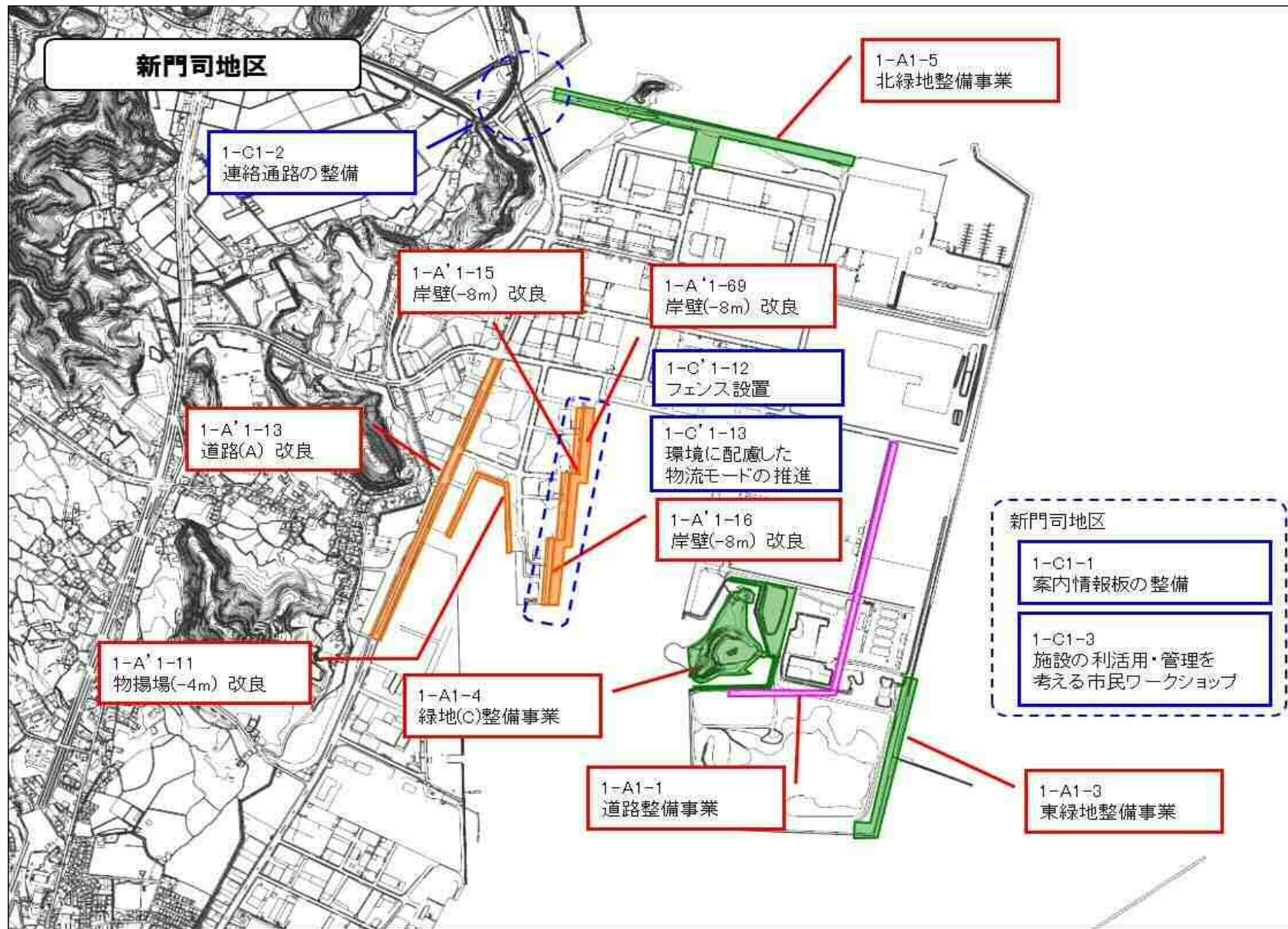
・今後も引き続き、安全で円滑な物流機能を確認するため、臨港交通施設等の整備を進める。また、魅力的な水際線づくりを促進し、市民が気軽に港や海辺に親しみながら交流できる場を提供する。

(図面) 活力創出基盤整備

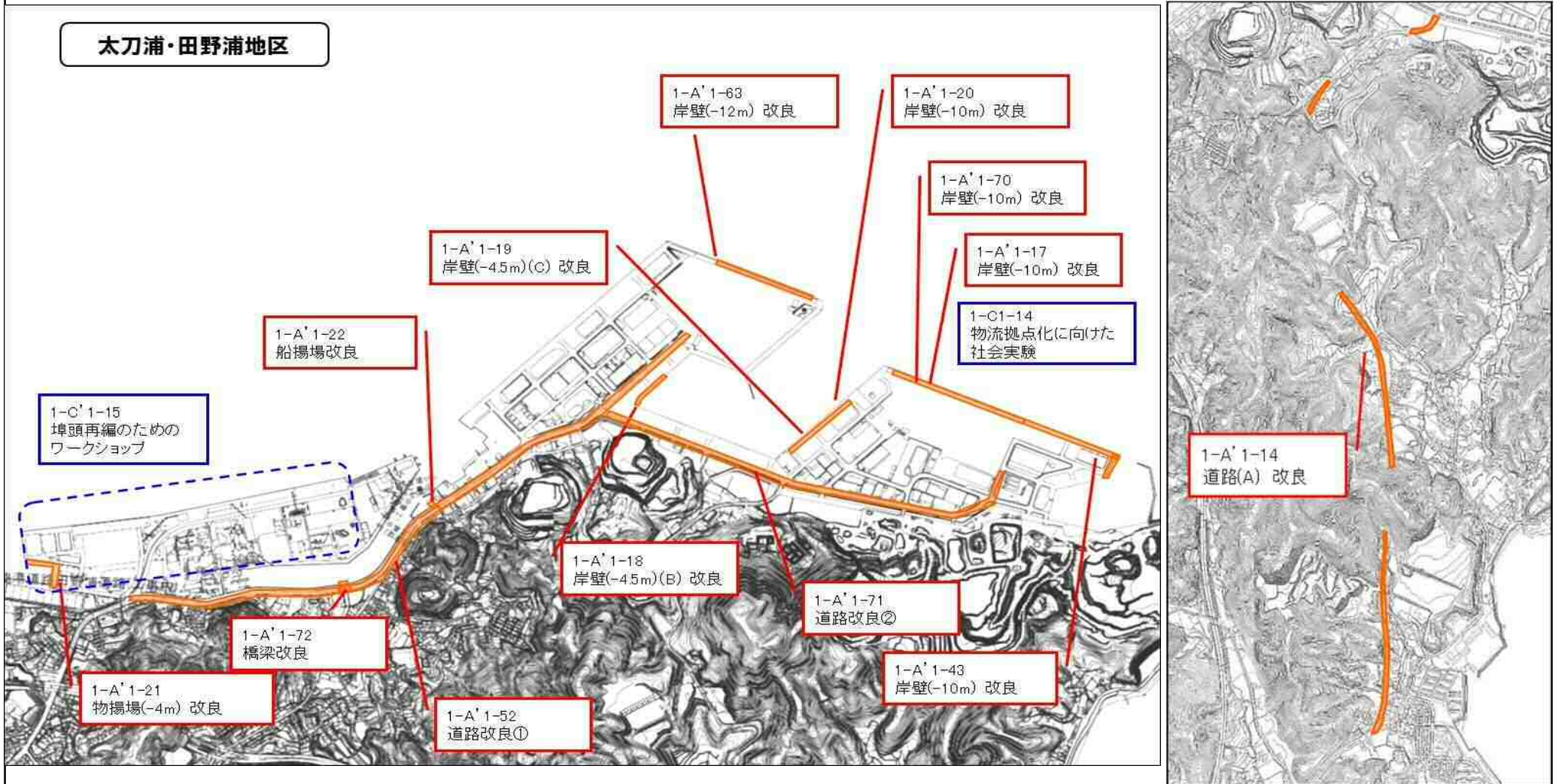
計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(地域活性化)	交付対象	北九州市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



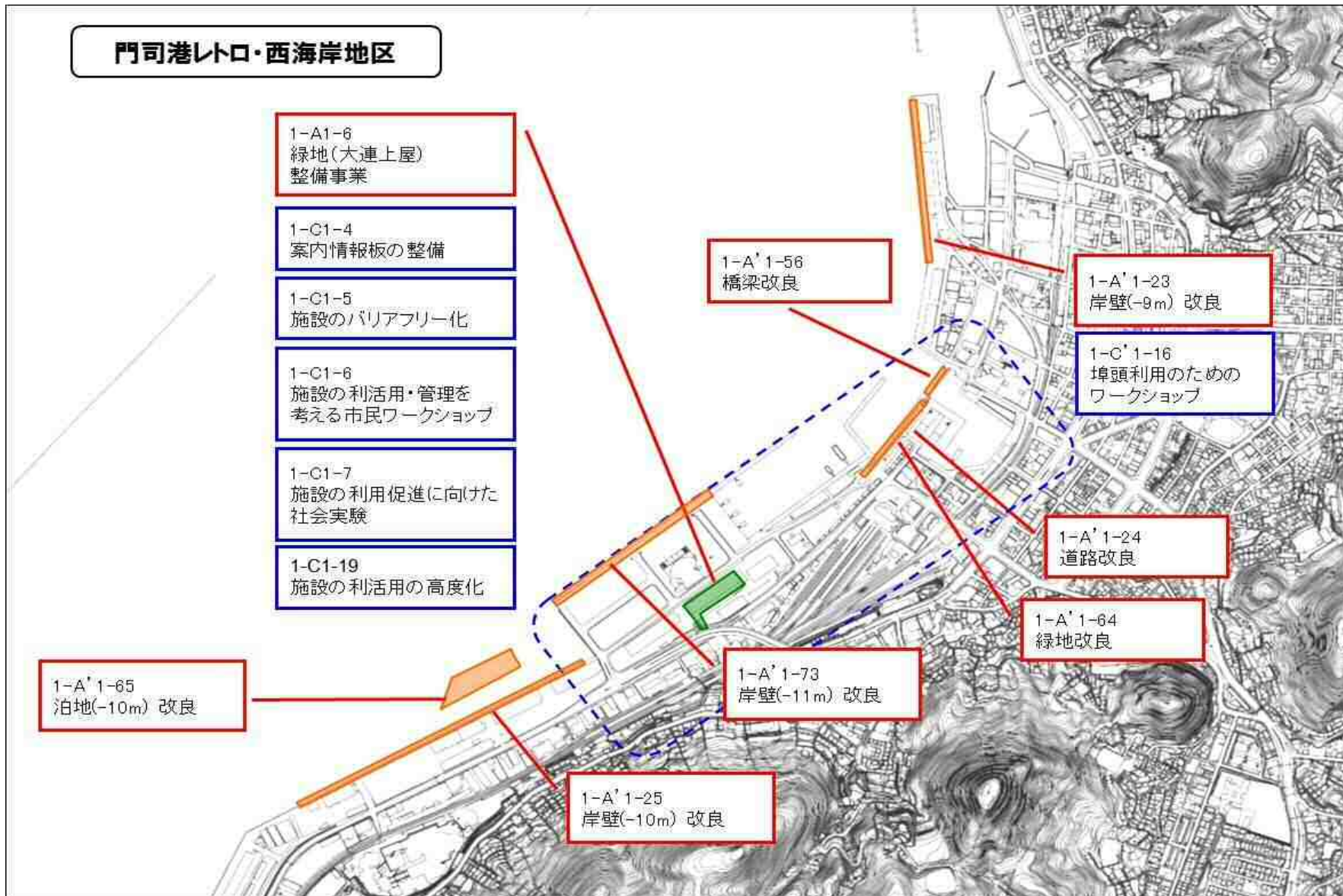
計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(地域活性化)	交付対象	北九州市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



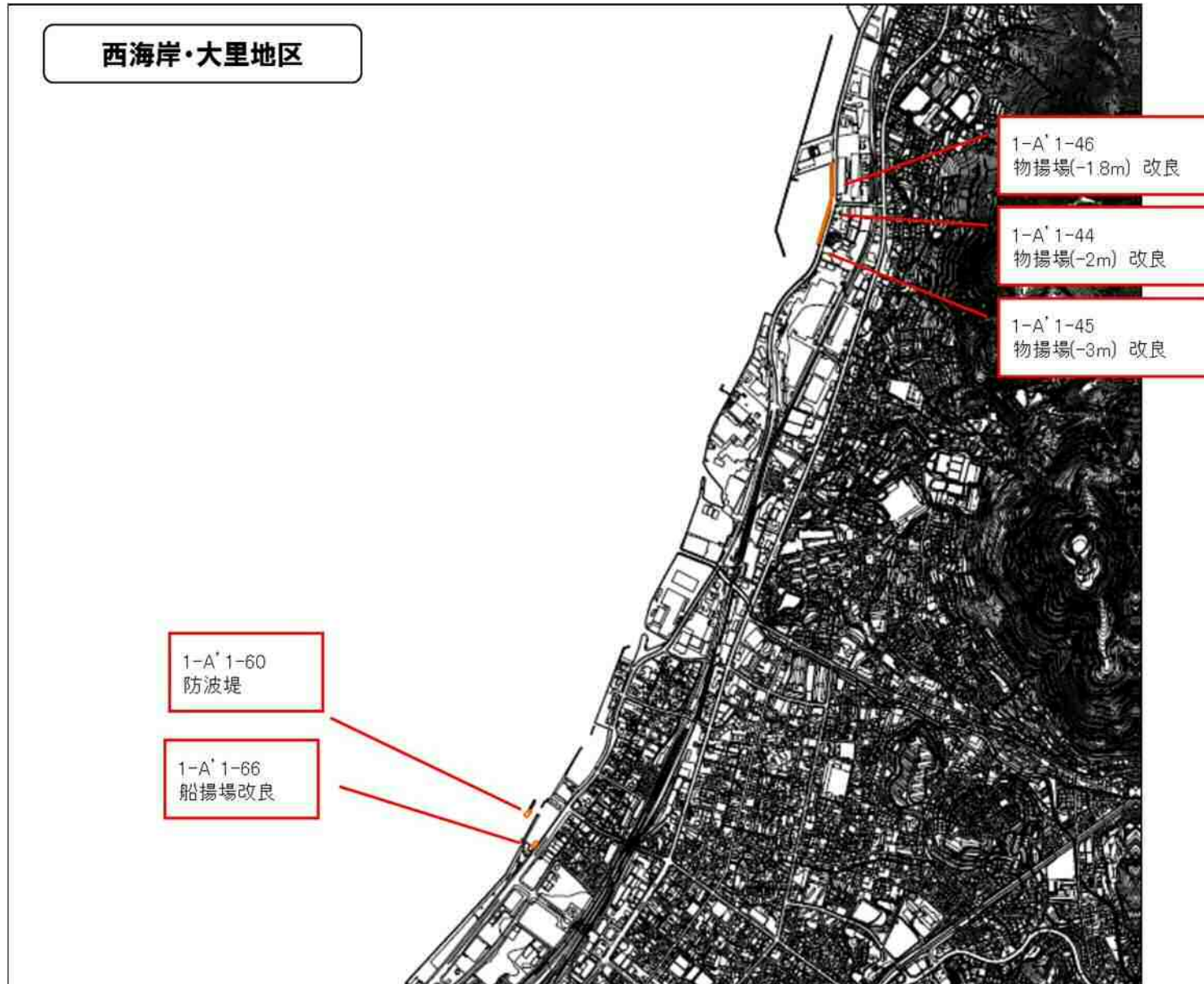
計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(地域活性化)	交付対象	北九州市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



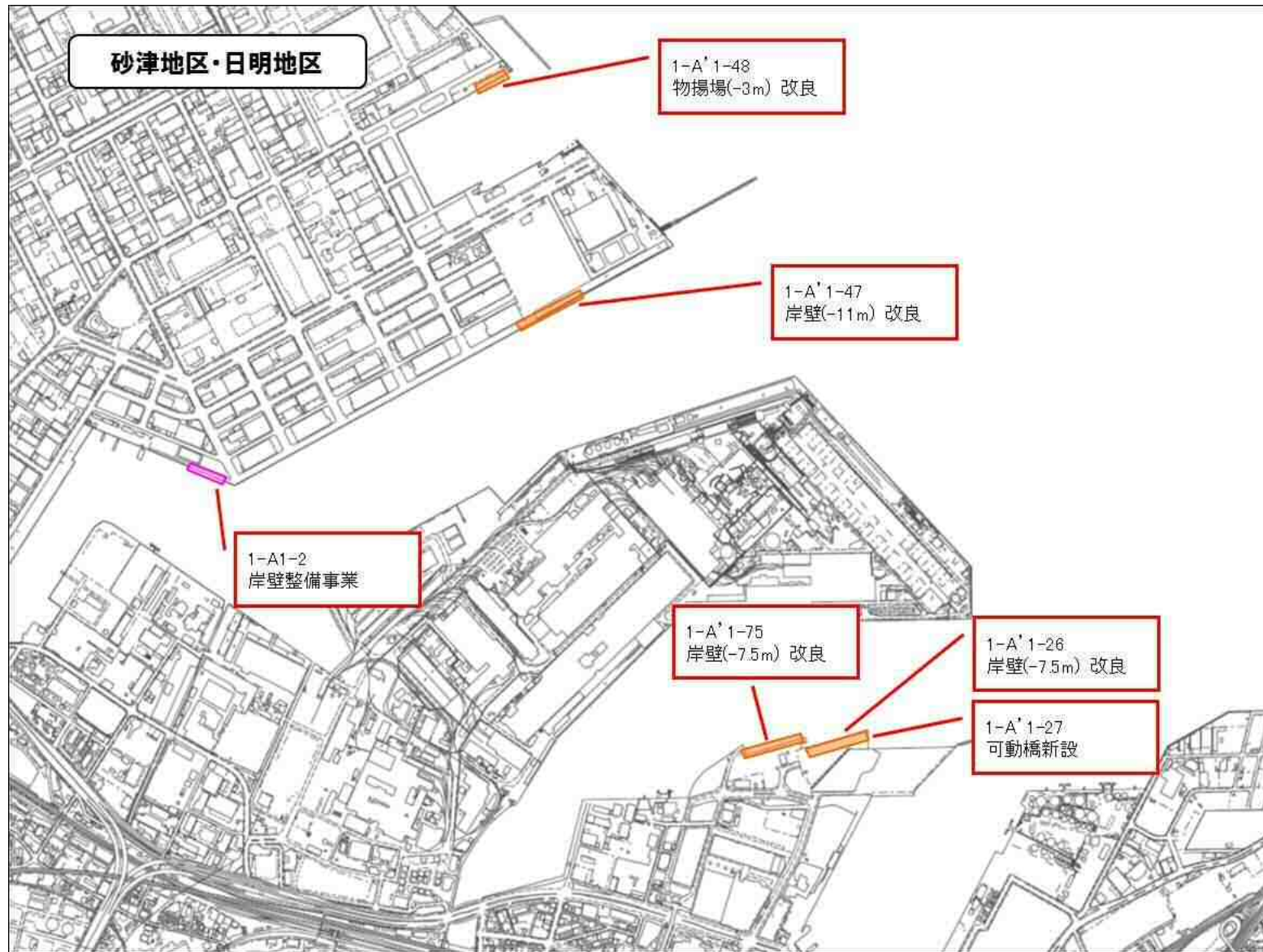
計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(地域活性化)	交付対象	北九州市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



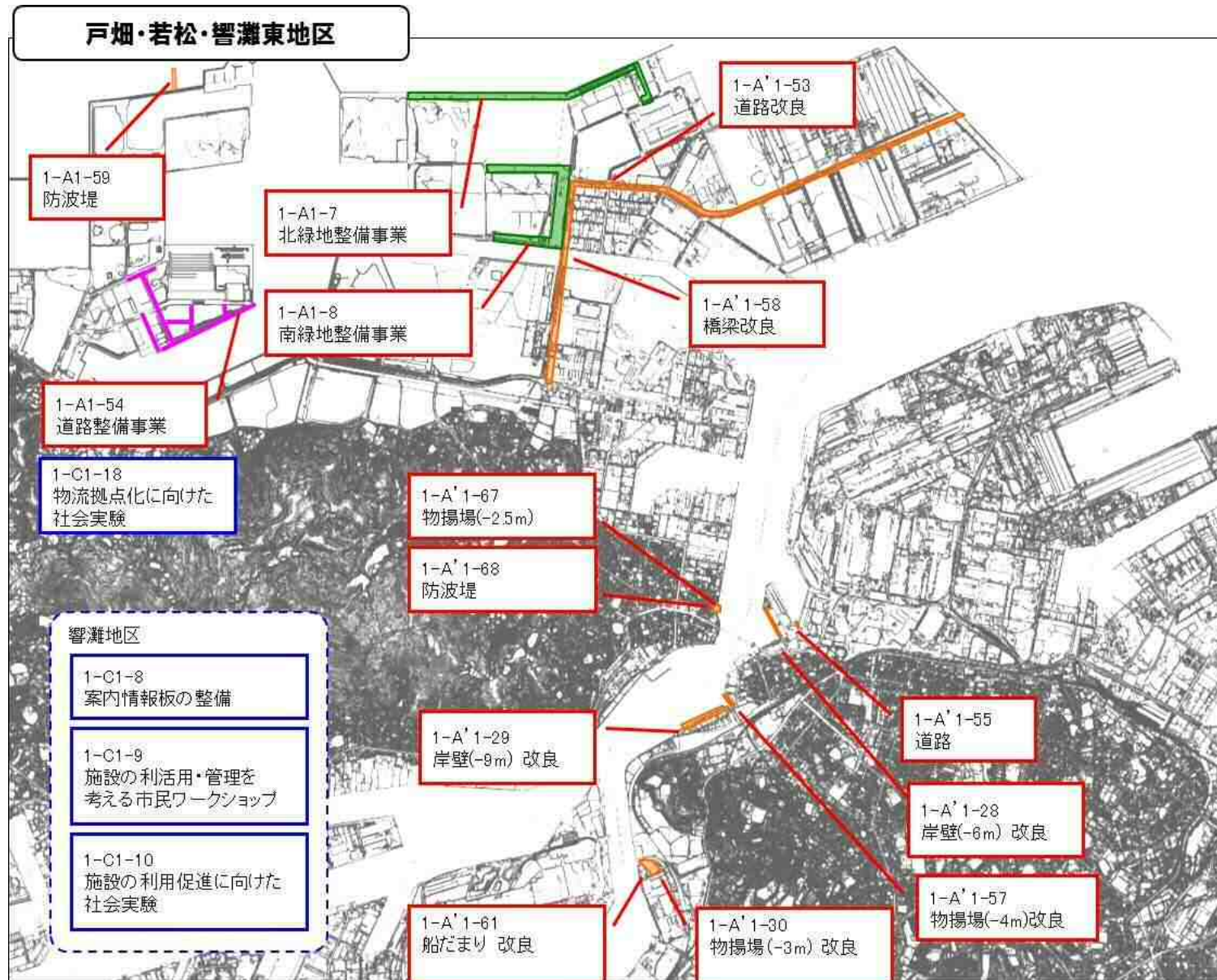
計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(地域活性化)	交付対象	北九州市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(地域活性化)	交付対象	北九州市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(地域活性化)		交付対象	北九州市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)			



計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(地域活性化)	交付対象	北九州市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

